

(様式第1号)

## 兵庫丹波ブランド農産物新商品開発応援事業 計画書

1 事業テーマ ※該当するものに☑。 販売促進のみは不可	<input type="checkbox"/> 新商品開発 <input type="checkbox"/> 販売促進(本事業で開発した新商品に限る。既存商品の販売促進は不可)			
2 事業者の名称	(ふりがな)	代表者 職・氏名		
3 事業者の所在地	〒			
4 事業者の概要	要件	以下のいずれかに該当すること(該当するものに☑)。 <input type="checkbox"/> 農林業者 <input type="checkbox"/> 農林業を行う法人 <input type="checkbox"/> 農林業者が組織する団体 <input type="checkbox"/> 上記の農林業者等と連携して新商品開発及び販売促進の取組みを行う 商工業者等(ただし、丹波ブランド農商工連携ネットワーク会員の場合は地 域の制限は行わない)		
		主な取扱品目等		
	担当者	役職・氏名	〒	
	連絡先	TEL: e-mail:	FAX:	
5 事業費(円) ※「18 事業費明細 書」と一致させるこ と	事業に要する経費	うち補助金	うち自己資金	うち その他
6 事業の内容	① 新商品の名称(予定で可)  ② 新商品開発の概要(特徴(コンセプト)、用途、価格帯、包装パッケージ等)			
7 完了予定年月 日	※新商品の開発が完了する時期を記載(令和7年度1月末までに開発を完了すること)			

8 事業で使用する主な農産物	※兵庫丹波地域ブランド農産物(丹波篠山市・丹波市内で生産された農産物等)であること		
	品目名	仕入れ先	仕入予定数量 (試作に要する量のみ)
9 製造場所	※委託加工の場合は、委託であることを併せて記載		
10 販売方法等	① 想定する販売対象者： ② 予定販路(エリア、場所など)： ③ 販売PR方法：		
11 創意工夫	① 兵庫丹波ブランド農産物を生かした創意工夫点(類似商品との違い等)： ② 販売対象者を想定した商品形態の工夫点：		
12 商品の実現性・市場性	① 有効な販売経路を確保できる可能性があるか： ② 若年層を含む消費者等へどのように流通させるか：		
13 継続性・発展性	○事業終了後の販売予定量等の継続性・発展性：		
14 地域波及効果	① 兵庫丹波地域ブランド農産物の認知度向上につながるか：		

	②農産物生産者の意欲向上につながるか:
15 実施体制	○応募者や他の業者、関係機関等との役割分担について記載 (応募者が商工業者の場合、農林業者等との連携状況は必ず記載すること)

### 16 販売計画等（価格設定根拠）

		新商品名(予定で可) ( )	1年目(R7)	2年目(R8)	3年目(R9)
計 画 内 訳	収 益	販売額(円) ①			
		単価(円)			
		販売数量(個、kg 等)			
	費 用	生産・販売経費(円) ②			
		内、売上原価(円) 商品・材料費、 外注費、労務費、 減価償却費、 リース、レンタル費 等			
		内、販管費(円) 販売費、一般管理費			
		利 益(円) (①-②)			

### 17 事業実施スケジュール

年 月	実施内容	備 考

## 18 事業費明細表

※各補助対象経費について項目を分けて記載すること。補助対象経費は公募要領を参照。

※各補助対象経費について、根拠となる1者分の見積書、カタログ等を添付すること。

※下記のチェック項目を確認すること。

原料、包装資材の購入に要する費用については、補助期間中(～R7.1月)の試作品の開発に必要な額のみを計上している。試作後の販売品の製造に必要な額は計上していない。

機械、装置等については、リース料のみを計上している。購入費は計上していない。

宿泊費は計上していない。

項目	金額(円)	積算	備考
合計			

[添付資料]

定款、規約等（応募者が法人・団体の場合のみ）

応募者のこれまでの活動概要がわかる資料、新聞等で掲載された記事等

「18 事業費明細表」に記入する各補助対象経費についての見積書、カタログ等